

1 事業者の名称、代表者の氏名及び主たる事務所の所在地

事業者の名称 : 大日本印刷株式会社

代表者の氏名 : 代表取締役社長 北島 義俊

主たる事務所の所在地 : 東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

2 対象事業の名称及び種類

対象事業の名称 : 大日本印刷市谷工場整備事業

対象事業の種類 : 高層建築物の新築、工場の設置

3 対象事業の内容の概略

本事業は、計画地（約53,800m²：現在、大日本印刷株式会社市谷工場が操業）内で、既存の事務所、工場（延床面積約135,000m²）を事務所、印刷工場、地域開放型施設（体育施設、文化施設）に、工期を3期に分けて順次建替えるものである。

対象事業の内容の概略は、表1に示すとおりである。

延床面積は、別事業の事前解体部分を含む。

表1 対象事業の内容の概略

項目	内容
計画地	東京都新宿区市谷加賀町1-1-1他
計画敷地面積	約53,800m ²
建築面積	約18,000m ²
延床面積	約238,000m ²
建物高さ	事務所（高層棟：約12.5m、低層棟：約2.7m） 印刷工場：地階（地上部事務所：約2.7m） 地域開放型施設（体育施設、文化施設）：約1.8m
施設用途	事務所、印刷工場、地域開放型施設（体育施設、文化施設）、 駐車場等
工場稼働時間	24時間稼働
駐車場規模	約600台（「東京都駐車場条例」に基づく附置義務台数）
工事予定期間	期：平成21年～平成23年予定 期：平成23年～平成26年予定 期：平成27年～平成29年予定
供用予定年月	平成29年10月予定

4 環境影響評価の項目

(1) 選定した項目

環境影響評価の項目は、図1に示す手順に従い、対象事業の内容をもとに環境に影響を及ぼすおそれのある環境影響要因を抽出し、地域の概況等を勘案して環境影響評価の項目を選定した。

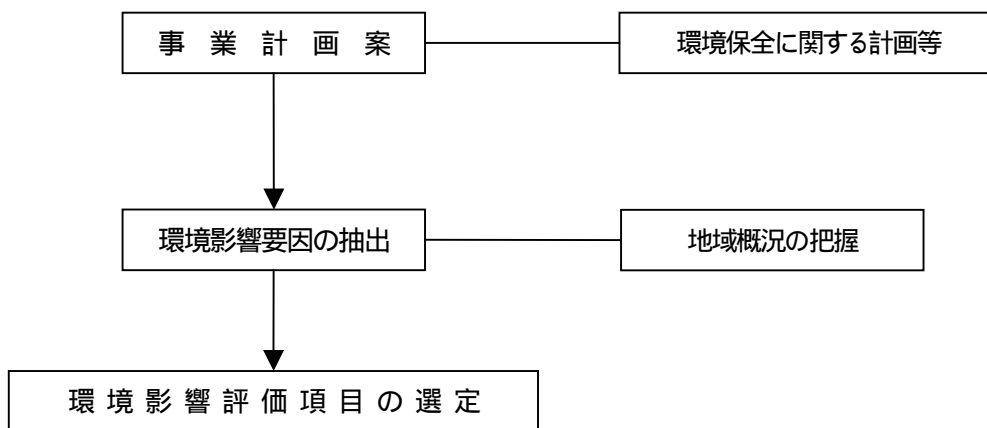


図1 環境影響評価の項目の選定手順

選定した項目は、表2に示すように、大気汚染、悪臭、騒音・振動、土壌汚染、地盤、日影、電波障害、風環境、景観、自然との触れ合い活動の場、廃棄物及び温室効果ガスの12項目である。

なお、工事の施行中における「工事用車両の走行」については、本事業の工事の施行中においては、工事用車両のほかに、一部供用部分の関連車両が走行するため、「工事用車両及び供用部分の関連車両の走行（以下、「工事用車両等の走行」という）に伴う大気汚染」及び「工事用車両等の走行に伴う騒音・振動」を予測する事項とする。

表2 環境影響要因と環境影響評価の項目との関連表

環境影響評価の項目	区 分 環 境 影 響 要 因 予 測 す る 事 項	工事の 施行中		工事の 完了後			
		建設工事	工事用車両の走行	建築物の存在	工場等の稼働	地下駐車場の利用	関連車両の走行
大気汚染	・ 建設機械の稼働に伴う大気質						
	・ 工事用車両等の走行に伴う大気質						
	・ 工場等の稼働に伴う大気質						
	・ 地下駐車場の利用に伴う大気質						
	・ 関連車両の走行に伴う大気質						
悪 臭	・ 工場の稼働に伴う臭気						
騒音・振動	・ 建設機械の稼働に伴う騒音・振動						
	・ 工事用車両等の走行に伴う騒音・振動						
	・ 工場等の稼働に伴う騒音・振動						
	・ 関連車両の走行に伴う騒音・振動						
水質汚濁	-						
土壌汚染	・ 物質の土壌中の濃度 ・ 地下水への溶出の可能性の有無 ・ 汚染土壌の量						
地 盤	・ 地盤の変形の範囲及び変形の程度						
水循環	-						
地形・地質	-						
生物・生態系	-						
日 影	・ 日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・ 冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度						
電波障害	・ 計画建築物等の設置によるテレビ受信障害						
風環境	・ 計画建物の設置に伴う平均風向、平均風速及び最大風速等の突風の状況並びにそれらの変化する地域の範囲及び変化の程度 ・ 年間における強風の出現頻度						
景 観	・ 主要な景観の構成要素の改変の程度及びその改変による地域景観の特性の変化の程度 ・ 代表的な眺望地点からの眺望の変化の程度 ・ 圧迫感の変化の程度						
史跡・文化財	-						
自然との触れ合い活動の場	・ 自然との触れ合い活動の場が持つ機能の変化の程度						
廃棄物	・ 既存建造物の撤去に伴う廃棄物 ・ 建設工事に伴う廃棄物 ・ 土壌の掘削及び切土等に伴う建設発生土						
	・ 工場等の稼働に伴う廃棄物						
温室効果ガス	・ 工場等の稼働に伴う温室効果ガスの排出量またはエネルギーの使用量の程度及びそれらの削減の程度						

注) 印は、予測・評価を行う必要があると認められる環境影響評価の項目を示す。